

審議会委員を募集します

文化財保護審議会委員

国・道・市指定文化財などの保存および活用について広く市民の意見を聴き、施策に反映させるために委員を募集します

募集人員 若干名
応募資格 18歳以上(市内に通勤、通学の方を含む。高校生、市議会議員、常勤の市職員を除く)
任期 6月11日から2年間
報酬 会議1回につき8,100円 会議は年2回程度
申し込み・詳細 5月17日(火)までに住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号、応募動機(400字程度)、市の審議会や委員会などの委員経験者はその名称と期間を記載(様式は自由)し、直接または郵送(必着)で〒053 8722 旭町4丁目4番9号 文化振興課(市役所第2庁舎2階) ☎32-6752

市営住宅入居者選考基準審議会

市営住宅の住宅困窮度の判定基準について審議する委員を募集します

募集人員 2人
応募資格 18歳以上(市内に通勤、通学の方、外国人を含む。高校生、市議会議員、常勤の市職員を除く)
任期 6月26日から2年間
報酬 会議など1回につき8,100円 会議は年1回程度
抽選会の立会い1回
申し込み・詳細 5月20日(金)までに「市営住宅入居者選考基準審議会委員申込」と明記し、住所、氏名、性別、生年月日、職業、電話番号、応募動機(400字程度)、市の審議会や委員会などの委員経験者はその名称と期間を記載(様式は自由)し、直接または郵送(必着)Eメールで 〒053 8722 旭町4丁目5番6号 住宅管理課 ☎32-6316 ✉j-kanri@city.tomakomai.hokkaido.jp
選考結果は全員に通知。応募用紙は返却しません

ハスカップレディ募集

苫小牧市を市内外にPRする親善大使「ハスカップレディ」になって、1年間活躍してみませんか。選ばれた方には旅行クーポンなどの副賞を用意しています



応募資格 ●18歳以上の女性(高校生と工業高等専門学校3年生以下を除く) ●市民または、市内の事業所や学校に通勤・通学している方 ●1年間各種行事(平日もあり)に参加できる方

応募方法 本人または推薦者が応募用紙に必要事項を記入し、L判のカラー写真(全身)を添えて5月19日(木)から6月16日(木)までに、港まつり実行委員会事務局へ持参または郵送(消印有効)
応募用紙配布 市内各公共施設、観光案内所 JR苫小牧駅、市ホームページ(苫小牧観光情報)
審査 書類審査後に二次審査(面接)を行います
応募先・詳細 〒053 0021 若草町3丁目3番8号 市民活動センター1階 港まつり実行委員会事務局 ☎(32)6448 http://www.ci.tomakomai.hokkaido.jpから苫小牧観光情報(検索)

ワークショップ「苫小牧市美術館を考える」

市立美術館の開設に向けて課題と解決策を討議する参加者を募集します

とき・回数 6月以降3回程度
ところ 博物館
定員 10人程度
対象 高校生以上の方
申し込み・詳細 25日(水)までに電話で 文化振興課 ☎32-6749 または博物館 ☎35-2550



第21回市議会定例会

詳細 議会事務局 ☎32 6785

平成23年度予算総額 1,301億1,489万2千円が可決
(一般会計予算は736億6,500万円、特別・企業会計予算は564億4,989万2千円)

第21回市議会定例会は2月25日(金)から3月18日(金)まで開かれ、報告12件、議案45件、意見書5件などの審議が行われ、「平成23年度各会計予算案」などが可決されました。
「財政健全化」、「行政改革」、「市民自治の推進」の基本政策、今年度の重点施策「企業誘致」、「景気・雇用対策」、「CAP(まちなか再生総合プロジェクト)」、「みんなて福祉大作戦」、「健康と医療」、「環境」、「教育」、「苫小牧中央インターチェンジ」と総合計画の体系に基づく5つのまちづくりの目標に沿って今年度の主要施策を掲げた市長の市政方針および教育長の教育行政方針に対し、6党派6名の議員が代表質問に立ち、論議が行われました。
また、各常任委員会・特別委員会では陳情の審査のほか、CAP Program Part、住居表示整備事業実施基準、保育所整備計画、小中学校規模適正化地域プラン(Eプロック中学校)、日新団地建替事業基本設計、米艦の苫小牧港寄港などについて質疑が行われました。



報告

閉会中の建設委員会に付託されていた水道料金の額の改定のための「苫小牧市水道事業給水条例及び苫小牧市下水道条例」の一部改正案を原案可決とした審査結果が報告されており決定されました。

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種緊急促進事業のための平成22年度一般会計補正予算の専決処分報告が承認されました。また、強風でこみまわりのごみ箱が飛ばされたことによる車両の物損事故の賠償額の決定、市有自動車物の物損事故による賠償額の決定についての特決処分報告が承認および終了し、これらの賠償金を増額する平成22年度一般会計補正予算の専決処分報告が承認されました。また、市長から「度重なる職員の不適切な事務処理にかかる市長及び副市長の給料の減額について」の行政報告が行われ、市長、副市長の1月分の給料を減額する「苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例」の一部改正の専決処分の報告が承認されました。
最終日は、厚生委員会と文教経済委員会に付託された陳情の審査結果の報告が、報告どおり決定されました。さらに、今定例会において任期満了となる総合開発特別委員会および自動車運送事業に関する調査検討特別委員会の活動経過とこれまでの調査結果が報告

議案

3月末の任期満了に伴う副市長、監査委員の選任について、副市長には中野裕隆氏の再任と新たに菊地一己氏(総務部長)の選任に監査委員には新たに本波裕樹氏(環境衛生部長)の選任に同意しました。
また、固定資産評価員から辞職の申し出があったため、後任に和野幸夫氏(財政部長)の選任に同意しました。

22年度補正予算案は、一般会計が、未執行予算額の調整などで11億8千899万9千999円の減額、債務負担行為の追加で舗装新設工事など4億6千566万7千円が可決されました。また、特別会計・企業会計では、国民健康保険の保険給付費の増や市立病院の医師の増員に伴う給与費の増、未執行予算額の調整などで14億2千66万3千円の増額が原案どおり可決されました。

また、関連議案で「苫小牧市国民健康保険事業基金条例」の制定と、平成23年度の文化会館の指定管理者に株式会社苫小牧振興公社を指定することについて、原案どおり可決しました。
平成23年度予算案は、一般会計及び企業会

諮問

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦について、引き続き千葉洋一氏を推薦することに同意しました。

請願・陳情

《前回までに提出された案件》(カッコ内は付託された委員会)
●「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める要望意見書」提出に関する陳情(厚生委員会)
●「政府によるPPP交渉に係る要望意見書提出に関する陳情(文教経済委員会)」不採択
●「高齢者の生活実態に見合った年金引き上げを求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)」審査未了
●「地域医療と国立病院の充実を求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)」

意見書

「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める要望意見書」ほか3件と急務を要する意見書として、平成23年東北地方太平洋沖地震災害に関する要望意見書が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。

市長コラム



苫小牧市長 岩倉博文

夢と希望のもてる街

3月11日に2010年ノーベル化学賞を受賞した鈴木章北大名誉教授の祝賀会が開催されました。当日は、私も出席しお祝いをさせていただきました。予定でしたが、東北地方太平洋沖地震の発生により急ぎよ災害対策本部を設置し対応したため副市長に出席してもらい、先生の偉業を讃え苫小牧市民からの心を込めた記念のトロフィーを贈呈させていただきました。

このトロフィーは、苫小牧出身で、「樽前arty」を主宰している藤沢レオ氏に市民の祝意を形にしてほしいと依頼しました。デザインは、鈴木カップリングに代表される分子の結合図をモチーフに、上部に市章の「ト」、下部に「マ」をイメージする突起を融合しています。素材は、土台に鉄、上部にハルニレ材を使用し、異なる素材をカップリングしています。

先生は、小さなことでも希望や理想を追い求めること、そして努力すれば幸運にめぐり合えることを若者たちに訴えています。この快挙は、苫小牧市民に「夢と希望」を与えてくれました。子どもからお年寄りまでみんなが一生懸命努力したことが報われ、そして夢と希望を持って暮らすことのできるまちづくりを続けて行きます。



贈呈したトロフィー

苫小牧市統一学力検査事業、沼ノ端小学校校舎温風暖房機改修工事、沼ノ端小学校講堂電気設備改修工事(再編交付金事業)、沼ノ端中学校講堂内装改修工事(再編交付金事業)、(仮称)苫小牧市美術館設置事業、健康ウォーキング事業、緑ヶ丘公園陸上競技場施設整備など

諮問

任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦について、引き続き千葉洋一氏を推薦することに同意しました。

請願・陳情

《前回までに提出された案件》(カッコ内は付託された委員会)
●「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める要望意見書」提出に関する陳情(厚生委員会)
●「政府によるPPP交渉に係る要望意見書提出に関する陳情(文教経済委員会)」不採択
●「高齢者の生活実態に見合った年金引き上げを求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)」審査未了
●「地域医療と国立病院の充実を求める要望意見書提出に関する陳情(厚生委員会)」

意見書

「大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める要望意見書」ほか3件と急務を要する意見書として、平成23年東北地方太平洋沖地震災害に関する要望意見書が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。